

学んで備える、これからの10年設計

いまずぐ「女台めよう!

明るい老後計画!

社会の変化や世界経済は、私たちの日常生活にも大きく影響してきます。未来の予測は難しいですが、人生設計の目安にしておきたいですね



社会の変化のスピードが、
 どんどん加速しているように感じる今日このごろです。
 情報が氾濫し、未来に対する不安は増すばかり。
 でも心配だけしていても仕方ありません。
 今後の変化を考えながら、「自分の老後」を明るく設計していきましょう!

社会環境・高齢者事情

世界の人口73億人
 (2000年61億人)

IT化はどんどん進化していく?

アジア諸国の高齢化が加速

東京オリンピック開催

後期高齢者(75歳以上)
 人口が前期高齢者
 (65~74歳)を上回る

団塊世代(1947-1949年
 生/約660万人)が、
 後期高齢期に入り始める

高齢化率(人口に占める
 65歳以上の割合)が
 30%を超える

2026年には、
 日本の人口が1億
 2千万人を下回る

2025年には
 世界の人口が
 80億人を超える

これから10年
 (65歳に到達する
 生まれ年)

2015年
 (昭和25年)

2016年
 (昭和26年)

2017年
 (昭和27年)

2018年
 (昭和28年)

2019年
 (昭和29年)

2020年
 (昭和30年)

2021年
 (昭和31年)

2022年
 (昭和32年)

2023年
 (昭和33年)

2024年
 (昭和34年)

マネー・介護・医療環境

介護保険改正
 高所得者は
 自己負担2割に

金融所得課税の
 一体化:特定公社債
 などの税制改正

4月、
 消費税10%に?

介護保険改正

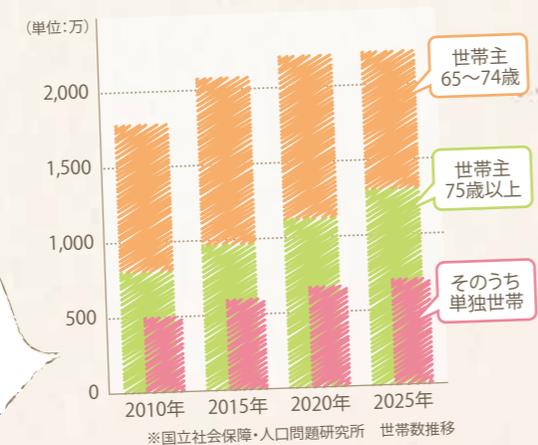
後期高齢者医療保険料
 (平均的厚生年金受給者)
 月額6,200円程度?

介護保険改正

介護保険改正
 第1号保険料(平均)
 月額8,200円程度?

相続税基礎控除が
 5千万円→3千万円、
 相続人1人当たり
 1千万円→6百万円
 に引き下げ

●高齢者世帯数の推移



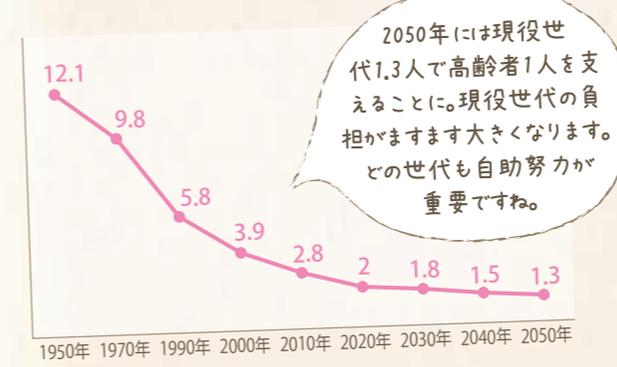
●認知症高齢者の概況(2012年)



日本だけでなく世界的に認知症の増加は課題です。日頃から食事や運動を気にかへ、介護予防・認知症予防をすることが大切です。

75歳以上の世帯やひとり暮らしの世帯が今後増えていきます。万が一の際の住まいの安全対策や安否確認の方法はとて大切ですね。

●65歳以上の高齢者を15~64歳の人口で支える割合(単位:人)



●平均余命(2013年)

	男性	女性
0歳	80.2	86.6
50歳	31.9	37.7
60歳	23.1	28.5
70歳	15.3	19.6
80歳	8.6	11.5
90歳	4.3	5.5
100歳	2.0	2.4

普段聞く「平均寿命」は、今0歳の人の平均余命。その年齢の人があと何年生きるか?が「平均余命」。長生きすればするほどさらに長生きします。100歳でも平均あと2年程度生存します。

参考資料:国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(H24年)」、厚生省「社会保障に係る将来推計の改訂について(H24年)」、内閣府「高齢社会白書(H26年)」